

令和8年 第1回 安芸太田町議会臨時会会議録

令和8年1月19日

招集年月日	令和8年1月19日					
招集の場所	安芸太田町議会議事堂					
開閉会日 及び宣告	開会	令和8年1月19日	午前10時20分	副議長	津田 宏	
	閉会	令和8年1月19日	午前10時35分	副議長	津田 宏	
応(不応)招議員 及び出席並びに 欠席議員 凡例 ○ 出席 △ 欠席 × 不応招 △公 公務欠席	議席 番号	氏 名	出席等 の 別	議席 番号	氏 名	出席等 の 別
	1	笠井 清 孝	○	7	影井 伊久美	○
	2	田島 清	○	8	大江 昭 典	○
	3	宮本 千 春	○	9	小島 俊 二	○
	4	大江 厚 子	○	10	津田 宏	○
	5	末田 健 治	○	11	中本 正 廣	△
	6	佐々木 道 則	○			
会議録署名議員	3 番	宮本 千 春		4 番	大江 厚 子	
職務のため議場に 出席した者の職氏名	事務局長	河野 茂		書記	佐々木 裕子	
地方自治法第121 条により説明のた め出席した者の職 氏名	町 長	橋本 博 明		教 育 長	—	
	副 町 長	木村 富 美		病院事業管理者	—	
	参 事	—		道の駅推進チーム 担当課長	—	
	参 事	—		教 育 次 長	—	
	会 計 管 理 者 兼 総 務 課 長	二見 重 幸		教 育 課 長	—	
	総 務 課 主 幹	郷 田 亮		安芸太田病院 事務長	—	
	加 計 支 所 長	—		—	—	
	筒 賀 支 所 長	—		—	—	
	企 画 DX 課 長	能 宗 良 明		—	—	
	税 務 住 民 課 長	—		—	—	
	地 域 協 働 課 長	—		—	—	
	産 業 観 光 課 長	菅 田 裕 二		—	—	
	建 設 課 長	—		—	—	
	健 康 福 祉 課 長	伊 賀 真 一		—	—	
	衛 生 対 策 室 長	—		—	—	
会議に付した事件	別紙のとおり					
会議の経過	別紙のとおり					

会議に付した事件

令和8年1月19日

	諸般の報告
	会議録署名議員の指名
	会期の決定
議案第1号	令和7年度安芸太田町一般会計補正予算（第6号）

令和8年第1回臨時会
(令和8年1月19日)
(開会 午前10時20分)

○津田宏副議長

ただいまの出席議員は10名です。定足数に達しておりますので、これから令和8年第1回安芸太田町議会臨時議会を開催します。本日の議事日程はあらかじめ配付しているとおりです。

日程第1. 諸般の報告

○津田宏副議長

日程第1、諸般の報告を行います。本日町長から配付のとおり議案が送付されています。地方自治法第121条の規定により、本臨時会に説明のため出席を要求したものは町長です。なお、同条の規定によって、町長から説明員を委任したことについて配付した写しのとおり通知がありました。監査委員から、11月末現在における出納検査の結果報告が提出されています。報告書は議会事務局で保管していますので、御覧ください。以上で諸般の報告を終わります。

日程第2. 会議録署名議員の指名

○津田宏副議長

日程第2、会議録署名議員の指名を行います。本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第126条の規定によって、3番宮本千春議員及び4番大江厚子議員を指名します。

日程第3. 会期の決定

○津田宏副議長

日程第3、会期の決定について議題とします。お諮りします。本臨時会の会期は本日1月19日の1日間にしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

異議なしと認めます。したがって会期は本日1日間に決定いたしました。

日程第4. 議案第1号

○津田宏副議長

日程第4、議案第1号、令和7年度安芸太田町一般会計補正予算(第6号)を議題といたします。提出者から提案理由の説明を求めます。橋本町長。

○橋本博明町長

はい。それでは提案説明をさせていただきます。議案第1号、令和7年度安芸太田町一般会計補正予算(第6号)。令和7年度安芸太田町一般会計の補正予算第6号は、歳入歳出それぞれ6,418万8千円の増額を定めるものです。今回の補正は、国の物価高騰対応重点支援地方交付金を活用した食料品の物価高騰に対する生活者支援事業と、子育て応援手当支給に

伴い、必要な予算を計上するものでございます。詳細については、担当課長等から説明をさせます。

○津田宏副議長

郷田総務課主幹。

○郷田亮総務課主幹

はい。議案第1号、令和7年度安芸太田町一般会計補正予算（第6号）につきまして御説明をさせていただきます。まず第1条の歳入歳出予算の補正でございます。こちらは歳入歳出それぞれ6,418万8千円を追加しまして、予算総額を歳入歳出それぞれ92億7,188万7千円と定めるものでございます。このたびの補正につきましては先ほど町長が申したとおり、国の交付金を活用して生活に対する食料品の物価高騰への支援事業及び物価高騰対応子育て応援手当を支給するためのものでございます。ページ飛びまして12ページ13ページをお開きください。今回の補正に対する歳入でございます。国庫補助金としまして物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金6,418万8千円を歳入予算に充てさせていただくこととしております。それでは歳出予算の詳細につきましては各担当課のほうから御説明をさせていただきます。

○津田宏副議長

はい。能宗企画DX課長。

○能宗良明企画DX課長

はい。それでは歳出のほうについて説明をさせていただきます。諸費の中の電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業の6,418万8千円のうち、私のほうはそのうちの5,388万8千円について、御説明させていただきます。再三再四繰り返になりますけども、令和7年12月16日に国の令和7年度補正予算が成立しましたが、その中で生活者に対する食料品の物価高騰への支援が特別加算として盛り込まれました。本町では町民の生活支援と地域経済の活性化を目的として、全町民に対して生活応援給付金として地域通貨を給付することとしたいと考えております。具体的には、町民1人あたり1万円を、地域通貨moricaマネーで支給をさせていただきたいと考えております。こちらの予算の負担金補助及び交付金の6,230万とありますが、そのうちの1万円の12月末の人口の5,230人分、5,230万円が給付金となります。そのほかにシステム設定費利用料等で158万8千円を補正として計上させていただきます。議決後には各町民の方に御周知させていただき、2月6日に1万円を地域通貨moricaで支給する方向で考えております。説明は以上です。

○津田宏副議長

はい。伊賀健康福祉課長。

○伊賀真一健康福祉課長

はい。続きまして健康福祉課から御説明をいたします。ページのほうは同じく14ページ、15ページのほうを御覧ください。電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業の6,418万8千円のうち、物価高対応子育て応援手当として1,030万円を計上しております。物価高騰の影響を受ける子育て世帯への支援策として、0歳から高校生年代の1人につき2万円を現金により支給するもので、負担金補助及び交付金として500人分の1千万円を、またその他の事務的経費といたしまして、職員手当や需用費、役務費等合わせて30万円を計

上をいたしております。これらの費用に係ります財源においては、国の交付金を全額充当することとしております。健康福祉課からは以上でございます。

○津田宏副議長

以上で提出者の説明を終わります。これから質疑を行います。質疑はありませんか。7番、影井議員。

○影井伊久美議員

はい。えーとですね、食品等の物価高騰の特別加算で、moricaカードにチャージをされるということなんですけれども、そのmoricaの利用率なんですけれども現在全く使われていない方、もしくは前回の給付で利用がなかった方など、数字をお知らせ頂きたいと思えます。

○津田宏副議長

はい、能宗DX課長。

○能宗良明企画DX課長

はい。今回のように、全町民に一律給付するものは、令和4年12月に地域通貨事業を始めたときに、カードを配布するときに、7千円を入れた形でさせていただきましたが、その中で最後まで利用されなかったのは、利用されたのが96%ですので、4%ほど利用されなかったものがございます。ただ、その後、いろいろ、地域通貨の利用拡大とか加盟店の拡大を図りまして、ここ、去年一昨年とか、低所得者向けの給付金事業等もさせていただいておりますが、昨年度は99パーとか100パーになった給付金もありますので、そういった意味では利用率は上がっているというふうに考えておりますし、今回も、実際に令和8年7月末の期間限定となりますので、その数か月前には未利用の方に対する、利用に向けての周知活動を徹底して、100%利用頂けるように、町としては努めてまいりたいと考えております。以上です。

○津田宏副議長

7番、影井伊久美議員。

○影井伊久美議員

100%に近い確率で御利用頂いているということで、皆さん方の御努力による、非常に有効な事業だと考えております。一方で、残る1%の方々というのは、まだ私も先日、本当先日、御相談頂いたんですけれども、何のことかよく分からなくて、破棄してしまったというお声を頂きました、実際に。はい。そういった方々に向けてもですね、紛失や破棄された方、再発行の手続きがとれるということなどもあわせて周知頂きたいと申し添えて質問を終わります。

○津田宏副議長

ほかに質疑ございませんか。はい、9番、小島議員。

○小島俊二議員

はい。今回、物価高騰対策で重点支援交付金があるんですがこの1万円を配るとするのは特別枠の部分配ることになる、それとも1億3千万の色分けがしてあるんですか、特別枠か普通の分とかということで。まず最初にそれを。

○津田宏副議長

はい、能宗企画DX課長。

○能宗良明企画DX課長

はい。安芸太田町でいうと、交付限度額今回の補正予算物価高騰の限度額は1億3,760万になっておりまして、その内訳の特別加算としては、2,444万6千円となっておりますが、国のほうからは、これを超える形で、その上限の中で給付するという話になっておりますので、そういった中で今回1人1万円という額を設定させていただいております。

○津田宏副議長

はい、9番小島俊二議員。

○小島俊二議員

いうことは国のほうの財源ですが2千いくらという金額なんです、その住民1人あたり1万円を上乗せして給付しようという判断にいったいことですかね。2月6日、違うんですか。特別枠なのか普通枠なのか枠があるかどうかいうところがまず聞きたかったんで、要は2千万という今答弁されたのがそれが特別枠の、要は、重点お米券にかわるようなものを出す枠なのか、それで安芸太田町とすれば1万円ということだったらそれより多く住民の方へ給付するという考え方でよろしいんですかね。

○津田宏副議長

橋本町長。

○橋本博明町長

はい特別枠というのはあくまで生活支援に最低限使えというのが枠でございます、我々そういった今のお話の流れでいうと、生活枠を超えて1万円分要は5千万分をとにかく生活支援ということに充てさせていただいたというそういう趣旨でございます。国からはあくまでも、1億3千万1億4千万、使い道はいろいろあるんですけども、生活支援には少なくとも2,400万円特別枠として使いなさいという御指示でございました。以上です。

○津田宏副議長

はい、小島議員。

○小島俊二議員

はい最後に、2月6日給付ということで県内でも相当早い時期の給付で努力を評価するものでございます。残りの8千万余りが、来年度当初予算にあげることもなんですが、その使い道について、昨年来の給付金の例を挙げられましたが、ぜひ子育て支援に重点的に、使うことを提案したいんですが、町長そのへんの考え方ありましたら。

○津田宏副議長

はい。橋本町長。

○橋本博明町長

はい。確かにこれからまた残りの8千万分については有効に使えるように考えていきたいと思っておりますし、その内容として、子育て支援に十分使えという御指摘ございました。そういったことも踏まえながら、最適な使い方をまだ考えていきたいと思っております。ありがとうございます。

○津田宏副議長

ほかに質疑はございませんか。質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。これか

ら討論を行います。討論はありませんか。

(「なし」の声あり。)

討論なしと認めます。これで討論を終わります。これから採決を行います。議案第1号、令和7年度安芸太田町一般会計補正予算(第6号)についてを起立により採決します。議案第1号については、原案のとおり決定することに賛成の方は御起立をお願いします。

(賛成者起立)

起立総員です。したがって、議案第1号については、原案のとおり可決しました。以上で本日の日程は全部終了しました。これで会議を閉じ、令和8年第1回安芸太田町議会臨時会を閉会いたします。

○河野茂議会事務局長

御起立願います。一同互礼。

午前10時35分 閉会
